

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-Ⅱ-3

4-Ⅱ-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	多様な説明媒体の整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	3 多様な説明媒体の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○説明媒体の整備により、来訪者の構成資産に対する理解促進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○構成資産の価値を分かりやすく説明するため、関連機関と協力し、ICT[※]等を活用した映像の提供や多言語機能など、効果的な様々な説明媒体を整備する。 (※ICT:Information and Communication Technologyの略)</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設案内となる多言語(英・繁体字・簡体字・韓)のパンフレットを作成し、きらりうむ佐渡(佐渡金銀山ガイダンス施設)等の関連施設に配架し、施設の周知を図るとともに、ガイダンス施設や現地来訪のきっかけをつくる。 ●現地ガイドアプリの活用をポスター等で周知し、利用の促進を図る。 <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設案内の多言語パンフレットを作成し、きらりうむ佐渡に配架したほか、他の関連施設や佐渡観光交流機構等に配架を依頼して施設の周知を行った。 ●ポスター等に現地ガイドアプリの情報を掲載する周知を行った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現地ガイドアプリ以外にも、各種サインの設置場所や内容・表記(多言語)について、来訪者の構成資産への理解促進に向けて、最新技術の導入を含め、引き続き関係機関と検討を進める必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■史跡整備基本計画及び平成29年度に策定したサイン計画(サインデザイン含む)に基づき、令和6年度までに解説・歩行者誘導・注意喚起等の120基のサインを新たに設置する予定。 (4-1-7遺跡案内表示の整備、充実と連動、4-Ⅱ-1・解説パネル等の整備と連動) ■計画的なサイン設置に向けて予算確保に務める。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a ○ b · c]</p> <p>◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a ○ b · c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A ○ B · C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。